



三和公民館だより (2024年2月号)

〒851-0403 長崎市布巻町 88-1 TEL 095-892-1919 FAX 095-892-7499

今年こそ夢をカタチにしたいな！

～ できなかった「好き」なことをやろうって思うんです～

エキゾチックな「南蛮ぼーど」に魅せられて、あちらこちらを散策してみました！

龍の「南蛮ぼーど」を見つけるたびに、そのクオリティーの高さと迫りに圧倒されました。すばらしいですね。津々谷の滝では、辰年の厄除けや開運の守護仏として信仰されている普賢菩薩の像もあり、なんとも言えない「ありがたい」気分になりました。いいことありそう！今年こそ夢をカタチにできるように挑戦します。



川原大池公園

古くから伝わる神秘のロマンが満ちあふれています。耳を澄ましてみてください。ふるさとからのメッセージが、ほら、聞こえてきませんか？



三和記念公園



清らかな流れ



津々谷の滝

☆☆三和公民館マスコットキャラクター誕生!☆☆

☆びわから生まれた三和公民館マスコットキャラクターです。これからちょこちょこ登場しますネ。よろしくおねがいします。



頭で考えても答えが出ないもの。それが「好き」。

「『すき』という2文字には、何も取り繕っていない“素”の“氣”持ちという意味があるそうです。好きこそもの上手なり。好きという言葉を使えば使うほど、素の自分を取り戻せそうですね。

和の心



(2024年2月号)

図書室だより

<1月入荷の新刊>

一般書	92冊	
児童書	42冊	計 134冊

おかげさまで、三和図書室は、平成16年2月にリニューアルしてから開館20年を迎えました。日頃より市民の皆様のご愛顧によるものと深く感謝申し上げます。

本はもとより雑誌、CD、DVD など蔵書は6万冊を超え、毎日多くの方にご利用いただいております。今後も小さなお子様からご高齢の皆様まで気軽に利用でき、また生涯学習を支える拠点となる図書室となれますよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

☆今月の特集

【一般】 “人はなぜ働くのか”

『働く君に伝えたい「お金」の教養』 出口 治明／著

『人が働くのはお金のためか』 浜 矩子／著

『死ぬまで仕事に困らないために20代で出逢っておきたい100の言葉』 千田 琢哉／著

【児童】 “雪だるまとあそぼう”

『ゆきがやんだら』 酒井 駒子／作

『手ぶくろを買いに』 新美 南吉／作 羽尾 利門／絵

『ゆき』 はた こうしろう／絵 他



「児童コーナー」の掲示板

☆今月の新刊



【DVD】

『誰でもみんなうつになる』『月の満ち欠け』『釣りバカ日誌 20』

『トップガン マーヴェリック』『ある男』

『ミニオンズ フィーバー』

【一般】

『思いっきり笑える！シニアの足腰を強くする』 斎藤 道雄／著

『自分のために料理を作る』 山口 祐加／著

『窓際のトットちゃん 続』 黒柳 徹子／著

『アウシュビッツを泳いだ男』 ルノー・ルブロン／著 他



【児童】

『アンパンマンとひかるゆき』 やなせ たかし／作・絵

『オニのサラリーマン じごくのしんにゆうしゃいん』 富安 陽子／文 大島 妙子／絵

『食物連鎖する動物』 サム・ハッチンソン／文 サラ・デニス／絵

『おてんきのあじ』 ソハ・リム／さく

『ふわふわとちくちく』 斎藤 孝／監修 他



“おはなし会”のごあんない

小さい子向け (0. 1. 2歳)

2月1日、15日 (木) 11:00~ (15分程度)

大きい子向け (3歳~小学生)

2月24日 (土) 11:00~ (20分程度)

おひざで絵本

2月8日 (木)

11:00~

(主催/野いちごの会)